

一関楽走会

令和7年
6月号
No611
発行責任者
佐藤東
Tel23-0101
090-6852-5852

5月例走会

5月4日、気温は10度です。ちよっと肌寒いくなく感じるくらいで、手袋はしなくても走れそうです。「走る仲間」の

一関楽走会からの余興リーダーの小野寺仁さんが、大黒舞の衣装を着て参加しました。

みんなにイメージを伝えたくて、見本を着て走りました。

今月の司会進行は、柴山東治さんです。

「春の天気の良い日には、一関から岩手山が見えます。どうぞ皆さんも、ランニングの合間に、岩手山を探してみたいかがで



前列左より 菅原孝一・佐藤東・小野寺仁・齋藤明美・安彦節子平井恒雄 後列左より 柴山東治・阿部隆・安彦敏郎・金田真太郎・平澤和則・小野寺卓司 写真齋藤祐二の13名

4月役員会

「JR大船渡線開業100周年記念駅伝」について実施要項の決定

①趣旨 大船渡線開業100周年を祝うとともに、地域の方々と連携し利用促進に寄与する。

今後の進め方
①一関市、及びJR一関駅と協議し、実施に向けて、施設の利用や問題点などがないか、ご指導ご協力をお願いする。



独自事業の成功に向け、協議する役員の方々。左から菊田和夫・菅原東・小野寺仁・細川慎一・畠山真佐実・小野寺良信・千葉丈夫・菅原孝一・佐藤東・佐藤文政 写真齋藤祐二

推進課及び、JR一ノ関駅とは、5月28日協議することになりました。

協議者 齋藤祐二・細川慎一・小野寺良信

②区間走者の決定
参加者名簿に基づき、5月末までに決定する。

③報道機関に、後援依頼をお願いし、活動について市民の方々に関心を持ってもらう。

後援依頼を5月24日までに発送済み。

開催が近くなったら、記事として取り上げていただくよう依頼する。

走る仲間の会岩手県交流会「花巻大会」について
・開催日 7月6日
・東北本線7時50分一ノ関駅に乗車。花巻駅より、送迎バス乗車。

大黒舞練習会

- 1.練習日 6月14日、21日、28日、7月5日 毎週土曜日
- 2.時間 18:30~21:00
- 3.練習場所 山目市民センター 創作室(事務所の奥の方)
- 4.練習方法 ビデオを見て覚え、みんなで揃える。

全員で踊る。リーダーは、小野寺仁さん。練習日 6月14日から毎週土曜日
・小野寺仁さんより「地元の青年会で、20年くらい前にみんなで踊った。当時の衣装が保管されており、それを使わせてもらうことで許可を得た。」
踊りは、忘れてしまったので、ビデオを見ながら、みんなで練習したい」
他の参加団体も、まとまって余興をやります。
前回は、一関レディースの皆さんをメインに一緒にやりましたが、一関レディースは、解散したとのことで、今度は私達だけでやることになりました。

③参加意向調査結果
自主事業や、岩手県交流会、駅伝大会などに参加できるか意向調査を行いました。

9月7日 一関ハーフ試走 阿部隆・大越昭夫・小野寺仁・小野寺良信・菊田和夫・齋藤明美・齋藤祐二・佐藤東・佐藤文政 四垂真弓・柴山東治・菅原孝一・畠山真佐実・平井恒雄	7月19日 大船渡線駅伝参加者 安彦節子・安彦敏郎・阿部隆・伊藤克則・大越昭夫・小野寺仁・小野寺良信・菊田和夫・吉川勝哉・西城孝・齋藤明美・齋藤祐二・佐藤東・佐藤文政 四垂真弓・柴山東治・菅原孝一・畠山真佐実・平井恒雄・細川慎一	7月6日 走る仲間の会参加者 安彦節子・安彦敏郎・阿部隆・石川徳雄・大越昭夫・小野寺仁・小野寺良信・熊谷秀雄・齋藤祐二・佐藤東・佐藤文政・菅原孝一・千葉健一・千葉丈夫・畠山真佐実・平井恒雄・細川慎一	9月14日 安比里レーマソン13名 1月1日 市内駅伝17名 (5月25日現在)
--	--	--	---

6月例走会

6月 1日 (日)

午前6時00分

河川敷「トリムコース」
司会進行は四垂真弓さん
4月から10月は6時00分開会

会報原稿募集

皆さんの寄稿をお待ちしております。

原稿×切 毎月15日

編集後記

楽走会のホームページは「一関楽走会」で検索

・今年の独自事業はおもしろいです。会員の交流と親睦を大切にそして地域貢献。行政も7月26日にイベントを行うとのこと。JR一ノ関駅とも関わりを持ち、長年地域の足として活用されてきた大船渡線を将来とも存続し、通勤・通学・通院等の足を確保することを願います。
・会報についてのお願いです。出来るだけ皆さんの名前が載るように考えていますが、走行距離、大会の記録、出場する大会をご連絡下さい。編集作業をされていて、情報集めに苦労しています。ご協力をお願いします。できるだけ15日前に！
事務局長 齋藤祐二 連絡先：080-8213-1136 Kinako19631014@outlook.jp

開催日	大会名	出 場 予 定 者(把握した範囲内)
6月1日	金ヶ崎マラソン	安彦節子・安彦敏郎・小野寺仁・齋藤祐二・菅原孝一・細川慎一
6月8日	銀河ウルトラマラソン	小野寺仁・齋藤祐二
	紅花マラソン(山形)	安彦節子・安彦敏郎
6月21日	名取シーサイドハーフ(宮城)	菅原孝一
6月22日	おいらせ町マラソン(青森)	安彦節子・安彦敏郎
6月28日	函館マラソン(北海道)	齋藤祐二



いつも通り、マイペースで走る齋藤明美さん。

参加することに意義があると自分を奮い立たせ、いつもと同じペースで走り、なかなか進みませんでした。後日、2位のメダルが届き驚きました。

齋藤明美

スタート前から身体全体の筋肉の張りが強くて、「今日は完走できればいいかな」と思ってスタートラインに並びました。いざ、スタートすると「今を楽しむためには、今出せる力を出し切る」と思ってた走りでした。走っていて、すれ違うメンバーの声の掛け合いや、沿道で応援していただいた皆さんに感謝です。齋藤さんに撮ってもらった連続写真で自分のフォームを客観的に見てショックを受けつつ、改善点だらけです。がんばっぺ！

一関市民マラソン

小野寺伸也

4・5月大会記録

・4/27 花巻ハーフマラソン	
ハーフ	
齋藤祐二	1:35:52
千葉勇一	1:41:50
菅原孝一	1:57:57
四垂真弓	1:59:40
細川慎一	2:07:38
小野寺仁	2:13:16
10km	
菊田和夫	44:20
伊藤克則	50:45
齋藤明美	59:37
安彦敏郎	62:45
3km	
安彦節子	20:04
・4/29 一関市民マラソン	
10km	
小野寺伸也	3位 43:04
菊田和夫	50:14
四垂真弓	52:06
菅原孝一	52:59
小野寺良信	56:59
5km	
柴山東治	23:01
小野寺仁	26:43
齋藤明美	2位 28:54
阿部隆	28:26
安彦敏郎	30:03
3m	
安彦節子	19:51
・5/11 仙台ハーフマラソン	
ハーフ	
齋藤祐二	1:39:54
細川慎一	2:04:17
菅原孝一	2:07:01
齋藤明美	2:23:11
岩手山麓ファミリーマラソン	
10km	
菊田和夫	48:01
安彦敏郎	59:21
3km	
安彦節子	20:51
・5/18 奥州きらめきマラソン	
フル	
齋藤祐二	3:52:06
千葉勇一	4:51:49
菅原孝一	5:29:55
小野寺仁	5:56:45
10km	
菊田和夫	3位 43:40
柴山東治	4位 50:07
細川慎一	56:07
小野寺良信	58:38
八戸うみねこマラソン	
10km	安彦敏郎 63:54
5km	安彦節子 35:50
福島シティハーフマラソン	
ハーフ	
伊藤克則	2:13:37
・5/25 錦秋湖マラソン	
ハーフ	
四垂真弓	1:52:38
細川慎一	1:59:52
10km	
小野寺伸也	41:38
齋藤祐二	4位 42:54
菊田和夫	43:39
菅原孝一	51:49
小野寺仁	57:43
齋藤明美	58:26
安彦敏郎	58:59

奥州きらめきマラソン

菊田和夫

3月頃から体調が不良で、練習もあまりできなかった。たの、スロースタート。時計を見ると、昨年より10秒/km遅いタイム。それでも、折返しで、4番目となっていた。あとひとりで抜ければ3位。スイッチが入り、何とか追い抜き3位になりましたが、ゴール前の直線道路が長く、ゴールしたら、フラフラでした。

柴山東治

一関市民マラソンからアキレス腱の腫れが引けず、大会の参加を迷いました。途中棄権も覚悟で出場しました。かばいながらの走り、5km地点では、競歩の高橋選手に抜かれましたが、アキレス腱の痛みも何とかしのぎ、完走することになりました。その結果、70代4位とご褒美をいただきました。

4月走行距離

順位	名 前	3月	累計
1	柴山東治	303	1,100
2	四垂真弓	254	654
3	阿部隆	250	589
4	菊田和夫	239	1,141
5	千葉隆	223	854
6	小野寺卓司	220	856
7	伊藤克則	200	800
8	菅原孝一	171	726
9	齋藤祐二	161	961
10	吉川勝哉	160	370
11	西城孝	150	530
12	細川慎一	146	533
13	小野寺仁	144	526
14	小野寺良信	110	360
15	佐藤文政	105	474
16	齋藤明美	105	383
17	安彦敏郎	103	398
18	佐藤東	98	170
19	千葉勇一	95	218
20	平澤和則	64	162
21	安彦節子	52	249
22	金田真太郎	35	35
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			

錦秋湖マラソン

細川慎一

週間予報で雨模様とあって、しめしめと思いましたが、当日は意に反して競技中は雨何処か雲も少ない良い天候。油断して日焼け止めも塗らずスタート。30km以降は暑さの為胃腸もやられ水分も吸収出来ずゲロを上げながら12kmを2時間かけてやっとゴール。しかし自分としては、あと8回完走して大台の1000回にする為にも23年はなんとか元気で走りたい。

家内の同行もあり、痛んだ足を温泉で癒やし、宿でのビールはもう最高。これだからマラソンは止められませんね。



ハーフの自己新記録達成で喜ぶ、四垂真弓さん。

スタート時には雨から曇りになり、絶好のコンディション。気持ちよく走ることができました。

四垂真弓



奥さんの応援で、2時間切り。今年のベスト記録を喜ぶ細川慎一さん。